



01
GUEST HOUSE

Challenge
LIFE
KURASHIKI
倉敷創業ストーリー

創業で人生をチエンジする

04
FOLK ART STORE

02
KITCHEN CAR

03
BOULANGERIE

Challenge
LIFE
KURASHIKI
倉敷創業ストーリー

JFC 日本政策金融公庫
倉敷支店

〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館6階
Tel:0570-077626(平日9:00~17:00)

本冊子掲載の記事、写真、イラスト等の無断転用・転載はお断りいたします。

編集・制作●日本政策金融公庫倉敷支店 発行●2024年9月

01 GUEST HOUSE

Shimotsui, Kurashiki-city

ありがとうございます」と
「また来たい」と
「我が家全員の
宿泊のご家族から
感謝のメッセージを
ありがとうございます」と



下津井
風待汐待
かわせじよ

岡山県倉敷市下津井1-7-30
<https://kazeshio.com/ja/>



施設ロゴも移住後に
知り合ったデザイン事務所に依頼。とても気
に入っています。



求められるものは様々です。

倉敷に来て、下津井に泊まっていた

だくのであれば、この土地の魅力を存

分に感じて欲しいと考えています。そ

のために歴史ある下津井の街並みの中

にある古民家の宿を選択していただき

たいです。

旅の時間は限られていますので、で

きるだけ有効に使ってもらえるように

チケットイン時の説明は短時間で済ま

せるようになっていますがウエルカム

サービスにはこだわっていましたと考

えています。

例えば、誕生日を迎える方には地元

のケーキを用意するなどのウエルカム

サービスを通じてご利用いただく方

にいっています。

例え、誕生日を迎える方には地元

のケーキを用意するなどのウエルカム

サービスを通じてご利用いただく方

にいっていますがウエルカム

サービスにはこだわっていましたと考

えています。

旅の時間は限られていますので、で

きるだけ有効に使ってもらえるように

チケットイン時の説明は短時間で済ま

せるようになっていますがウエルカム

サービスにはこだわっていましたと考

えています。

いうメッセージが残してあって、嬉しく泣きそうになりました。正直、開業までには苦労もあつたので、「なんか、報われた!」って感じで、とても励みになりました。またこの町に来たのですが、コロナ禍で閉塞感を抱える日々が続いたことで、開放感のある環境で暮らしたいと考えるようになりました。海のない埼玉県在住ということもあり、海への憧れが強く、海辺へ移り、例えはツーリング仲間と愛車を眺めながら、旅の時間を楽しんでいます。

魅力ある施設を下津井に

社あかつきは、先に触れた地域活性化の仲間と一緒に運営してきました。現は自分も率先して現場に立つて掃除や準備もしていますが、運営が軌道に乗つたら、スタッフを増やしていきます。

そして次の目標は、ファミリーや友人と気軽に楽しめる温浴施設をつくること。そして隣の旧家「中西家」を再生することです。僕が大好きになったこの場所をもっといろんな人たちに楽しんでもらいたい、好きになつてもらいたいです。下津井ではいろんな人が活性化に向けて頑張っています。イベントを企画・運営したり、かつてあった海産物を復活しています。

ありがたい支援の力

創業融資の信頼性の高さで、今は自分も率先して現場に立つて掃除や準備もしていますが、運営が軌道に乗つたら、スタッフを増やしていきます。

そして次の目標は、ファミリーや友人と気軽に楽しめる温浴施設をつくること。そして隣の旧家「中西家」を再生することです。僕が大好きになったこの場所をもっといろんな人たちに楽しんでもらいたい、好きになつてもらいたいです。下津井ではいろんな人が活性化に向けて頑張っています。イベントを企画・運営したり、かつてあった海産物を復

創業に欠かせないもの

創業融資を受けるという選択肢を考

えていました。彼らの信頼性の高さで、今は自分も率先して現場に立つて掃除や準備もしていますが、運営が軌道に乗つたら、スタッフを増やしていきます。

その核となる存在や話題、名所を地

域の人たちと一緒に創出して、近い将来には下津井の経済を回せるくらいの貢献をしていきたいです。

頭に浮かんできました。条件も魅力的

で、何よりも「無担保無保証」。これ

は大きなメリットだと感じました。

保証やお金の面はもちろん、事業計

画策定における担当者のバックアップ

も多く、トップのイメージなので、ます

少しだけ強かったです。計画を多角

的にチェックしつつ、細部にわたつて

何度も質問をいたぐことで自分の気

づきにもつながり、とてもありがた

かったです。

すべて「信頼」が繋げてくれます。



株式会社あかつき
代表取締役 長谷川達也さん
2021年、埼玉県から倉敷市下津井に移住。2024年創業、下津井宿「風待汐待」運営。長年の会計職経験から、数字で状況を見るのが得意。座右の銘は、マイケル・ジョーダンの「挑戦せずにあきらめることはできない」。

価値ある時間を過ごしてほしい

らではのゲストハウスになつたと自負しています。

1

住することを決意しました。

候補地は移住相談会に参加しながら、最終的に3ヶ所に絞り、それぞれの候補地で現地の方々から話を聞いたうえで決め、2021年下津井へ移住してきました。

移住後は、下調べの際や移住してからお世話になつた地元の工務店にご縁があつて勤務することになりました。工務店では会計士の経験を活かして、経理の業務に従事しつつも他業務にも幅広く携わることで、いろんな人に出会う機会が増えました。地域活性化を推進・実行する団体に所属したりと有志と共に、おきり屋を始めたりといろんな顔を持ち、地域の方々との信頼が築がつていくことで古民家が空き家になります。

信頼がこ縁を繋いでいく
移住後は、下調べの際や移住してからお世話になつた地元の工務店にご縁があつて勤務することになりました。その古民家の価値を維持したまま地域のために活かす方法を検討した結果、リノベーションしてゲストハウスとして活用する計画を実現するために運営会社を起業するに至りました。

リノベーションは元々の意匠や風合いを活かし、職人の手仕事にこだわる環境で暮らしたいと考えるようになりました。海のない埼玉県在住ということでもあり、海への憧れが強く、海辺へ移

化を推進・実行する団体に所属したりといろんな顔を持ち、地域の方々との信頼が築がつていくことで古民家が空き家になります」と語る。話が耳に入りました。

その古民家の価値を維持したまま地域のために活かす方法を検討した結果、リノベーションしてゲストハウスとして活用する計画を実現するために運営会社を起業するに至りました。

リノベーションは元々の意匠や風合いを活かし、職人の手仕事にこだわることで価値を維持します。そこで、古民家が空き家になると、海のない埼玉県在住ということでもあります。海への憧れが強く、海辺へ移

化を推進・実行する団体に所属したりといろんな顔を持ち、地域の方々との信頼が築がつていくことで古民家が空き家になります」と語る。話が耳に入りました。

その古民家の価値を維持したまま地

域のために活かす方法を検討した結果、リノベーションしてゲストハウスとして活用する計画を実現するために運営会社を起業するに至りました。

04 FOLK ART STORE

Achi, Kurashiki-city

「融民藝店」は、陶器や磁器のうつわやコップ、本染め手織りの織物、吹きガラスなど、暮らしの中で使いやすいものにこだわり、手頃なものから本格的なものまで揃えた民芸品店です。江戸時代の町屋を使った店舗は、美観地区の風景に融け込んでいます。僕は1971年から50年以上続くこの店を2022年に「事業承継」といってきました。



実は「後継者募集」と新聞で紹介されたので、問い合わせは何件もあったのですが、「民藝も店のことも全く知らない人たちに引き継ぐことは難しい」と融子さんは思っていたようです。

共感する時間を大事に

融民藝店を引き継いで、なんとか2年が経過しました。この店は新規事業ではなく、「事業承継」なので、融子さんがどんなことをやって来たのかということを洗い出してきました。まず民藝品という扱いで扱われるものの販売。あとは作り手との関係性の維持や構築です。作り手は高齢の方が増えていますので、後継者やお弟子さん、新たに見つける作り手を支援しながら関係を築いて、作り手と使い手の想いが融けあって「共感」が生まれる、心地よい空気の場所にしたいですね。

展示会の企画も、こちら主導で「これやりましょう」ではなく、会話の中から生まれてくる想いを企画の形にしていきますので、後継者やお弟子さん、いでの、ひとつひとつの作品を大事にしたいです。

そんな折、展示会に顔を出したら、そこで融子さんに呼ばれ「私の後、店をやつてみないか?」と軽い感じで言われました。冗談だらうと思つて「僕なんかにはとても無理です。」と答えるが、そばにいたお客様から、「絶対やるべきだな」といふ意見を決めてみると、本当にあなたしかいない」と言われ、「またまた冗談を。」みたいな空気になりました。帰り際に融子さんのご主人が追いかけてきて、「本当に考えてみて欲しい。」と言われ、「ああ、これは本気だな」と思い、いろいろと考えました。家族や当時の上司に話してみると、ほぼ否定されることなく了承を得られ、店を離れ流れになりました。



〒710-0055 岡山県倉敷市阿知2-25-48
<https://toworu-mingei.studio.site/>


若い人達がよく店舗前で撮影しています。ショーウィンドウからも興味を持ちてもらいたい嬉しい。



日本政策金融公庫との出会い

きつかけは至つてシンプルで、会社員から個人事業主になるにあたり、全く資金がない、ネット検索などで出てきたのが日本政策金融公庫でした。

計画書の作り方や見積り、面面やその間に必要な資金計画などのアドバイスをいただき、地域の金融機関への紹介も含め、オープンまでにも何度も連絡

閉店後、オープンまで半年くらいかけて準備しようと思つていましたが、融子さん曰く、「今までのお客さんには引き続き来ていただきながら早い方がいい」と、2021年12月31日に閉めて、1ヶ月後にはオープン。品物の整理や配置変え、作り手からの理解を得るなど、本当に大変でした。

事業承継といふ創業

創業といっても、僕の場合は事業承継というケースになりますが、一番大切なことは、とにかくオープン前に先代の方とコミュニケーションをしっかりと取るということです。それも早ければ早いほどいい。オープンするところ話しせるという時間はあまり取れなくなります。承継だけではなく、店と先代の歴史、想い、作り手やお客様との間関係など、できるだけ多くのことを受け継ぐことがとても大事だと感じています。

倉敷本通り商店街の民藝店

「融民藝店」は、陶器や磁器のうつわやコップ、本染め手織りの織物、吹きガラスなど、暮らしの中で使いやすいものにこだわり、手頃なものから本格的なものまで揃えた民芸品店です。江戸時代の町屋を使った店舗は、美観地区の風景に融け込んでいます。僕は1971年から50年以上続くこの店を2022年に「事業承継」といってきました。

東日本大震災を機に帰郷

生まれも育ちも倉敷ですが、写真好きが高じて東京でフォトグラファーとして活動していました。東京で東日本大震災に遭い、このまま東京で子育てをすることに不安や疑問を抱き、思い切って出身の岡山县に帰つきました。岡山に戻つてからも「写真を仕事にしよう」と漠然と考えていたところ、岡山市内で民芸品を取り扱う岡山県民芸振興株式会社（以下、岡山民芸）の方と知り合って縁をいだき入社することになりました。岡山民芸は創業70年を超える企業ですが、当時はホームページもなく、発信力を高めていくために写真を使って力になりましたと考めたことがきっかけです。

岡山民芸ではいきなりお店に立つことになりました。「民芸に関する知識はほぼゼロの状態で、「民藝」とは何か知らないとしてもできない」と思いました。岡山民芸の出身だったこともあり、僕のことを気にかけてくださり、岡山民芸に寄つて話を聞かせてもらうことが定番のルートになりました。

店を訪ねると戦後間もなく時代に職人さんが作つた、もう入手できれない貴重な器でお茶・珈琲を出してくらざつて、その度に融子さんは「口当たりがいいでしょう?」とか「持った時のバランスがすごくいいんです」といいました。

融子さんは引退を決めたから展示会を開いていました。ただ、融民藝店の当時の店主・小林融子さんは岡山民芸の出身だったこともあり、僕のことを気にかけてくださり、岡山民芸についていろいろと教えていただきました。店を訪ねると戦後間もなく時代に職人さんが作つた、もう入手できれない貴重な器でお茶・珈琲を出してくらざつて、その度に融子さんは「口当たりがいいでしょう?」とか「持った時のバランスがすごくいいんです」といいました。

融子さんは引退するので後継者を探していました。店を訪ねると戦後間もなく時代に職人さんが作つた、もう入手できれない貴重な器でお茶・珈琲を出してくらざつて、その度に融子さんは「口当たりがいいでしょう?」とか「持った時のバランスがすごくいいんです」といいました。

その時は民芸への知識と作り手との関係性について、「年末に引退するので後継者を探している」という記事が紹介されました。融子さんが辞める前に、もつといろんな話を聞いておくべきじゃないのかと思いました。

事業承継は他人事だった

融子さんは引退を決めたから展示会を開いていました。ただ、融民藝店の当時の店主・小林融子さんは岡山民芸の出身だったこともあり、僕のことを気にかけてくださり、岡山民芸についていろいろと教えていただきました。店を訪ねると戦後間もなく時代に職人さんが作つた、もう入手できれない貴重な器でお茶・珈琲を出してくらざつて、その度に融子さんは「口当たりがいいでしょう?」とか「持った時のバランスがすごくいいんです」といいました。



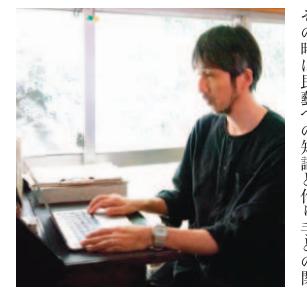
融民藝店
店主 山本尚意さん

倉敷市で生まれ育ち、東京でフォトグラファーとして活動。東日本大震災を機に帰郷し、2022年に事業承継で「融民藝店」店主となる。前店主の想いも引き継ぎつつ、自身の専門で民芸の普及と作り手のアートを伝えている。共感を大切にする日々。



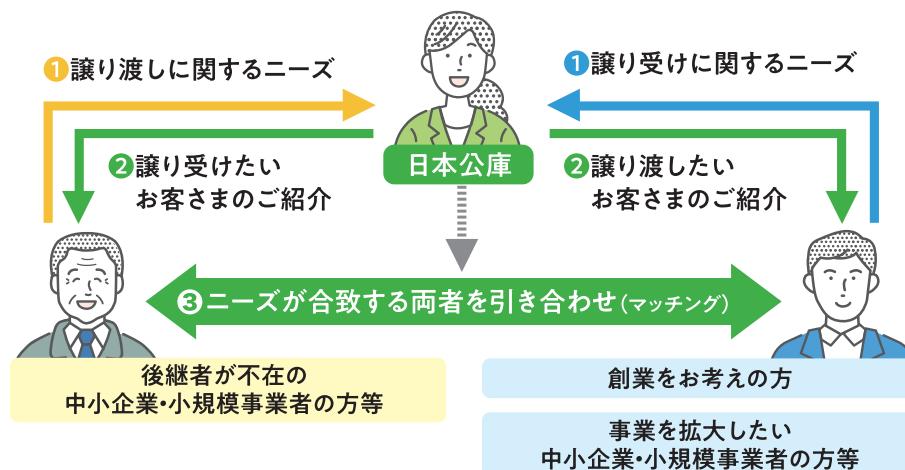
よ」という風に教えてくださつて、気がつけば融民藝店に通つて9年が経とうとしていました。というのも、民藝の作り手は窓元で仕事を溢む、学ぶなど師匠から受け継ぐことがあります。が、民藝を扱う限り手も借りて「本当にやった」とショックを受けました。ふと周りを見ると作り手（壳り手）の大先輩たちに引退される方もいらっしゃって「もつといろんなことを抱いておけばよかった」っていう気持ちが芽生えました。そんな時、融子さんが引退するという新聞記事を読んで、「本当にやった」と漠然と考えていたところ、岡山市内で民芸品を取り扱う岡山県民芸振興株式会社（以下、岡山民芸）の方と知り合って縁をいだき入社することになりました。岡山民芸は創業70年を超える企業ですが、当時はホームページもなく、発信力を高めていくために写真を使って力になりましたと考めたことがきっかけです。

う流れがありますでした。それなら融子さんが辞める前に、もつといろんな話を聞いておくべきじゃないのかと思いました。



「続けたい」と「始めたい」をつなげる。

後継者がいないことなどを理由に「事業を譲り渡したい」とお考えの方と、創業や事業拡大等に向けて「事業を譲り受けたい」とお考えの方をつなぐ、マッチングサービス「事業承継マッチング支援」を提供しています。



事業承継マッチング支援の5つの特徴

- 1 小規模事業者の方のご利用が中心
- 2 事業を受け継いで創業される方も対象
- 3 オープンネーム（実名）による後継者探しも実施
- 4 専門担当者によるサポート
- 5 無料のサービス

日本公庫 事業承継マッチング

検索



こちらの二次元コード
からもご覧いただけます。

創業・事業承継・融資・開業支援などでお悩みの方、
一度、日本政策金融公庫倉敷支店にお問い合わせください。

JFC 日本政策金融公庫
倉敷支店

Tel:0570-077626 (平日9:00~17:00)
〒710-0824 倉敷市白楽町249-5 倉敷商工会館6階



創業計画書の書き方

動画でわかりやすく解説！

日本公庫の創業計画書の書き方を具体的に解説する動画です。

これから創業をお考えの方で、創業計画書の書き方に悩まれた際はぜひご覧ください。

創業計画書作成ストーリー

全4話

第1話 (5分39秒)

「創業の動機」「経営者の略歴等」編



第2話 (5分9秒)

「取扱商品・サービス」「取引先・取引関係等」編



第3話 (4分23秒)

「資金計画」編



第4話 (5分57秒)

「収支計画」編



創業に関する情報をもっと詳しく知りたい方は

日本公庫 創業支援 で 検索



<https://www.jfc.go.jp/n/finance/sougyou/>
(こちらのURLからも本動画をご覧いただくことができます。)



JFC 日本政策金融公庫
国民生活事業